

一般質問

ヘルプマークについて



櫻井 勝

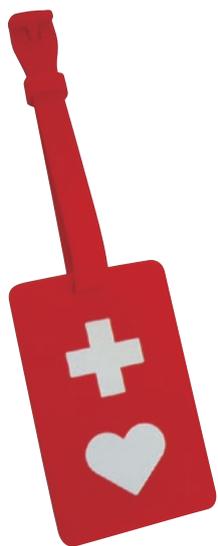
**問** 県は「静岡県障害を理由とする差別の解消の推進に関する条例」に基づき、周囲の方々が自ら進んで援助や気配りを行い、障がいのある方の不便さを取り除く「合理的な配慮の提供」の徹底を図る取り組みとして、援助が必要な方への思いやりの行動を促す「ヘルプマーク」を導入したが、市の取り組み状況は

**答** ヘルプマークは、平成24年10月に東京都で作成・配布が始まり、希望者に対して趣旨を理解していただいた上で、障害者手帳の有無に係わらず無償で配布するもので、現在では全国に広がっています。静岡県では平成30年2月から配布を開始し、市では平成30年5月時点で、17名に配布しました。使用方法は、ストラップが付いていますので、カバンなどに付けていただくか、片面に付属のシールで貼っていただき、周りの人の目に付くような形で身

に付けていただきます。市としては、このヘルプマークの趣旨を十分周知すると共に、必要な方に行き渡るよう、今後さらに普及啓発に努めていきます。市民の皆様にも、このヘルプマークを身に付けた方を見かけたら、ぜひ「思いやりのある行動」をお願いしたいと思います。

**問** 配布場所、申請方法及び市民への周知方法は

**答** 配布場所は、今のところ市役所福祉課窓口のみです。申請方法は、申請用紙などはなく、福祉課職員の聞き取りにより無料で配布しています。今後、社会福祉施設や福祉団体の家族会などへ周知していききたいと考えています。



ヘルプマーク

一般質問

交流人口の増加策について



水野克尚

**問** 日帰りの観光客は、県内の居住者で子育て後の夫婦が多いと言われています。この客層を狙うプランが大切だと考えるが、どのように観光交流人口を増加させるのか

**答** 観光基本計画に基づき、きめ細かい情報発信をします。また、御前埼灯台周辺や浜岡砂丘再生などの整備を行い、観光交流人口の増加を図っていきます。

**答** 道の駅・御前崎双方向の点が必要だと思います。サテライトなど、観光客の増加を図る手立てを考えていきます。

**問** せっかく御前崎市へ来てもらうのですから観光のルートづくりが必要です。まずは、道の駅からスタートし浜岡砂丘・桜ヶ池・浜岡原子力館・あらさわふる里公園など市内観光地を巡って御前崎地区へ。そのために道の駅へ観光協会のサテライトを配置し、市内観光の情報発信をする。土日や祝日には、職員を配置し積極的に名所をPRすることにより効果的に誘導できると考えるがどう思うか

**答** あらさわふる里公園はいつでも、地元の皆さんが整備してくれて素晴らしい公園だと思います。四季を通じて花の公園として必要であろうと思うのでどのようなか研究し提案をしたいと思



あらさわふる里公園のアジサイ